

つなげよう! まいう! あおりのかわとみち



青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577
平成25年 6月19日（水） 第191号

[ご意見は
こちらまで](#)

共生の郷 メダカ郷和国 手入れ作業を実施しました

6月11日（火）、一般国道7号青森環状道路脇にあるビオトープ【共生の郷 メダカ郷和国】で水草の刈り取り作業等を、地元のボランティアの方々や弘前大学学生等約30名で行いました。

まず始めに水面を覆っていた水草の刈り取り作業を行いました。

水辺には、クロメダカが数匹確認されました。昨年の今頃は一匹だけしか発見されませんでしたので、繁殖したものと思われます。

ヒメダカやアメリカザリガニは捕獲して別な場所に移しました。

かつては身近な存在だったメダカも今では環境省の指定する絶滅危惧種になっています。

青森環状道路の建設地にはメダカが多数棲んでいました。そのため青森河川国道事務所ではビオトープ【共生の郷 メダカ郷和国】を整備し、メダカの生息環境保全のための活動に取り組んでいます。

これまでの流れなど詳しくは[共生の郷メダカ郷和国ホームページ](#)からご覧ください。

※ヒメダカは、本来、南国の暑い地域に生息し、それに対してクロメダカは寒い地域に生息しています。これらが交配することで生まれた雑種のメダカは、本来の寒さに対応することができない可能性がでてきます。つまり長い目で見れば、絶滅の可能性も考えられることから、ヒメダカの駆除が必要になってきます。



(作業前)



(草刈り作業後)



見えにくいかもしれませんが確認されたクロメダカです。